

報告事項ク

平成22年3月及び平成23年3月高等学校卒業就職者の離職等調査結果について

平成22年3月及び平成23年3月高等学校卒業就職者の離職等調査結果について、別紙のとおり報告します。

平成24年3月17日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成22年3月及び平成23年3月高等学校卒業就職者の離職等調査結果

平成24年2月

鳥取県教育委員会事務局高等学校課

1 調査概要・目的

鳥取労働局職業安定部による集計の結果、高校卒業後すぐに就職し、3年以内に離職する者の割合は、平成20年3月高卒就職者においては、全国平均37.6%に対して、鳥取県は42.4%である。産業構造、就業構造が変化し、厳しい雇用情勢が続く中、離職率は低下傾向にあるが、鳥取県は全国よりも若干高めで推移している。

早期離職の問題は、企業、地域産業、地域経済の発展に影響を及ぼすものであり、「高卒就職者の早期離職防止」に向けた対応は、鳥取県において重点的に取り組むべき喫緊の課題として位置付けることができる。

このことから、高卒就職者の早期離職防止策を講ずる糸口を探るために、平成23年7月には平成22年3月に高等学校を卒業して就職した者を対象に、平成23年12月には平成23年3月に高等学校を卒業して就職した者を対象にアンケート調査を実施した。

2 実施時期、調査対象者及び調査依頼校

平成23年 7月	:	平成22年3月に高等学校を卒業して就職した者 県立高校24校、私立高校2校
平成23年12月	:	平成23年3月に高等学校を卒業して就職した者 県立高校24校、私立高校1校

3 実施方法

アンケート用紙送付による質問紙調査

4 回答率等

平成23年 7月	アンケート用紙送付対象者数957名、回答者数134名、回答率14%
平成23年12月	アンケート用紙送付対象者数955名、回答者数165名、回答率17%

5 離職率

平成22年3月卒業者	:	就職して1年未満での離職	20.1%
		就職して1年以上2年未満での離職	3.7%
平成23年3月卒業者	:	就職して10ヶ月未満での離職	10.3%

6 分析結果

(1) 回答者の離職率と鳥取労働局発表の離職率との比較

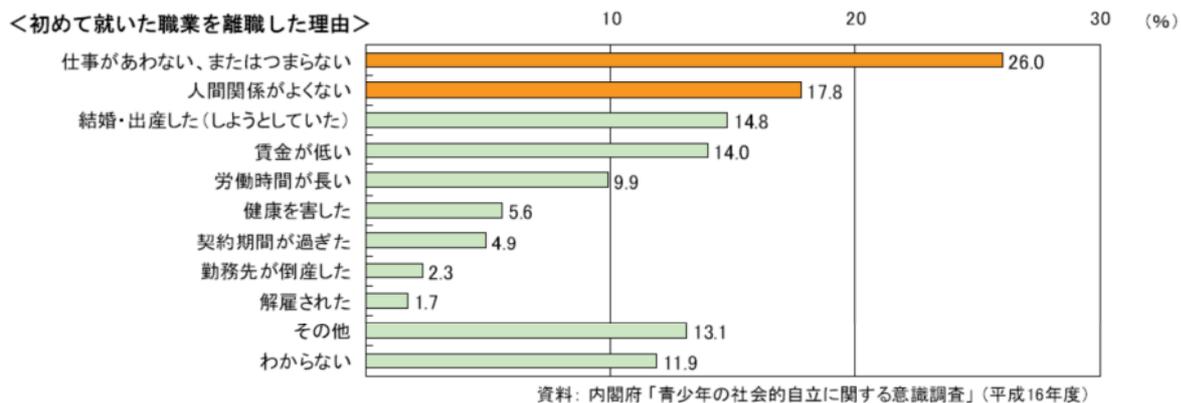
平成23年9月に鳥取労働局職業安定部が発表したデータによると、平成22年3月新規高等学校卒業者の1年後の離職率は、鳥取県23.1%、全国平均20.7%であった。今回の調査における平成22年3月新規高等学校卒業者の1年4ヶ月後の平成23年7月までの離職率は23.8%で、同様の数値を示す結果となった。

(2) 離職につながってしまった主な理由とその全国調査との比較

離職の主な理由の上位3項目はどちらの調査でも同じで、「仕事があわない、またはつまらない」といった、入社前と入社後のイメージのギャップで悩むケースや、「人間関係がよくない」、「職場の雰囲気があわない」といった、メンタル面での不調につながる要因であった。実際、「最初に就職した勤め先の仕事、職場」について、「ストレスが過大である」と回答した者が、どちらの調査でも4割以上いる。

また、求人数が少ないためか、「ぜひ就職したい」と希望して就職した者が少なく、「そこだったら就職してもよい」と思って就職した者がどちらの調査でも半数近くおり、このような気持ちが離職を後押ししているとも考えられる。

これらのことは、平成16年度に内閣府（当時）が行った「青少年の社会的自立に関する意識調査」結果と類似した傾向であり、厳しい雇用環境で就職した本県の若年者の考え方についても、全国的な傾向と同様であることが把握できた。



（3）回答者自身の反省

「高校生の時にもっと身につけておけばよかったと思うこと」、「高校生の時に、もっとこんなことを学んでおけばよかったと思う内容」については、資格・技能等や一般常識といった知識・技能に関するものと、常識・マナーやコミュニケーション能力といった人間関係形成能力に関する回答が、どちらの調査でも多かった。

また、「仕事というものはどういうものなのか」、「高校3年生になった時点での自分が知っている職種があまりにも少なすぎる」、「社会人になってから気付くことが多すぎる」（以上、H22.3卒）、「もっと早く今の職業に就くことを決め、専門的なことを学んでいればよかった」、「自分にあった仕事ややりたい事が分かっていなかった、もう少し真剣に取り組んでおけばよかった」（以上、H23.3卒）といった、仕事、職種、社会常識に関する学びの不足を後悔する記述もあった。このことは、学校から社会へ円滑に移行できていない卒業生が確実に存在していることを示している。

（4）学校に求められている取組

「働いてみて、役に立った高校での学習内容」については、専門教科の内容、常識・マナー、資格、コミュニケーション能力に関する記述が多く、「もっと高校に取り組んでもらいたいこと」に対する回答とつながっている。

また、「話を聞くことよりも、実際に体験できるような学習を増やしたら良い」、「少しでも働く環境になれてから社会人としてやっていくほうが絶対によいはず！」（以上、H22.3卒）、「職場体験や実習などの経験ができる機会を増やしたほうが良いと思う」（H23.3卒）といった就業体験の充実を求める意見もあった。新学習指導要領においても、就業体験の機会の確保については求められているところであり、一層の就業体験の充実が必要であるといえる。

さらに、「卒業してもその後の話を聞いてもらいたい」（H23.3卒）といった卒業後のメンタルケアの充実を望む意見があった。現在、県立高等学校17校に17名、私立高等学校2校に2名配置されている就職支援相談員を中心に、学校関係者が企業訪問の際に定着指導を行っているが、平成23年3月卒業就職者の約1割が10ヶ月未満で既に離職している。このようなことから、定着指導のより一層の充実が必要であるといえる。

（5）課題の抽出

現在、学校では、企業見学、企業研修、インターンシップ、面接指導や、雇用のミスマッチを解消するために新卒者求人事業所説明会、応募前企業見学、就職準備セミナー等への参加の促進、卒業生の定着指導を行っている。また、2回のアンケート調査集計結果により、離職した主な理由をはじめとして全体的に類似した傾向であることを掴むことができた。これらのことから、「メンタルケアの充実」、「自尊心の育成」、「資格取得・技能習得の推進」、「社会人としての常識・マナー習得の推進」、「コミュニケーション能力の向上」、「インターンシップの推進と質の向上」、「キャリア教育・職業教育の充実」といった課題を具体的に整理することができた。

(6) 離職防止の方策

2回のアンケート結果から明らかになった早期離職に係る諸課題の解決に向けて、鳥取労働局、県商工労働部、財団法人ふるさと鳥取県定住機構、ハローワーク等関係機関と連携して、様々な取組の推進、強化が必要である。

平成23年1月の中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」の中で指摘された「基礎的・汎用的能力」の育成につなげると同時に、推進、強化が求められる具体的取組としては、次のことがあげられる。

- 就職支援相談員による定着指導の一層の充実
【県教育委員会事務局高等学校課「キャリア発達支援事業」】

就職支援相談員等、在学時に関わりのあった職員が卒業生の様子を認識するために企業を訪れ、話を聞くことは、卒業生の心の支えとなり、メンタルケアとして有効な手段であると考えられる。

- 技能士資格取得の推進
【県商工労働部「技能振興事業」】

県の施策の一つとして、県内の高校等在校生に対する技能検定（技能士）受検手数料の減免措置がある。これらの制度の活用等、資格取得、技能習得の推進は、自分に自信を持たせることができ、自尊心や社会に出てからの働く意欲の育成につながる。

- 就職未内定卒業生等の支援
【厚生労働省「3年以内既卒者トライアル雇用」等】
【県商工労働部「県立高等技術専門校の高卒未就職者訓練」】

ハローワークの学卒ジョブサポーター、若者仕事ぶらざの若年者就業支援員と学校とが連携し、卒業後の未就職者に対して、粘り強い支援を行う。

- 集合型の就職前研修の実施
【厚生労働省「若年者地域連携事業」の財団法人ふるさと鳥取県定住機構による受託事業「高校生への就職セミナー」】

4月から社会人となる高校生を対象に、職業意識を高揚させ、「働く」ということを意識付けることを目的に、実践的なセミナーを実施し、職場定着の促進を図る。

- インターンシップの推進と質の向上
【学習指導要領、中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」】

実社会や職業との関わりを通じて、高い職業意識・職業観と規範意識、コミュニケーション能力等に根ざした実践力を高めるために、インターンシップに参加することは重要であると認識されているものの、体験日数や体験する仕事の内容等については様々な課題や意見があることも事実である。各学校においては、課題やニーズを捉えた見直しを行っていく必要がある。

- 産業界と学校のネットワークの構築
【県教育委員会事務局高等学校課「地域を担う人財育成事業」】

産業界と学校とが意見交換の場を設定し、学校が常に産業界のニーズ、企業が求める人材について把握することで、経済社会情勢の急速な変化に迅速に対応することができる。平成24年度は、全ての専門高校9校で、産業界と学校のネットワーク会議（委員会）が開催される。

- 社会人としての心構え・常識・マナー学習用テキストの配布
【財団法人鳥取県労働者福祉協議会「THE社会人」の配布】
【財団法人ふるさと鳥取県定住機構発行「職場の基本マナー」の配布】

アンケートの回答に、社会人としての心構え・常識・マナーをしっかりと学んでおいた方がよいという声が多かったことから、就職希望者へのテキストの配布は、就職希望者の「社会人になる」ことの意識の高揚と、実社会で困難に直面した場合のマニュアルとしての活用が期待できる。

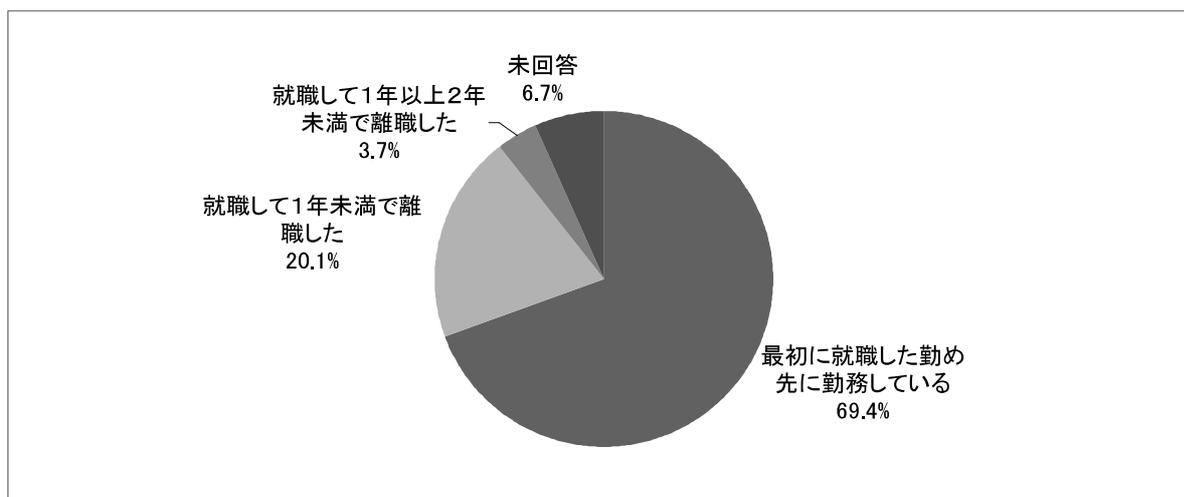
- 学校単位（学校宅配）型の研修、セミナー等の実施
【《新規事業》県教育委員会事務局高等学校課「地域を担う人財育成事業」
～宅配とっとりキャリア塾～】

若年者の早期離職防止及びキャリア教育・職業教育推進のために、各学校で講義・演習・ワークショップ等を計画し実施する事業である。全ての県立高等学校において、各学年1回（各クラスごとの実施、就職希望者全員を対象としての実施でも可）の実施を想定している。

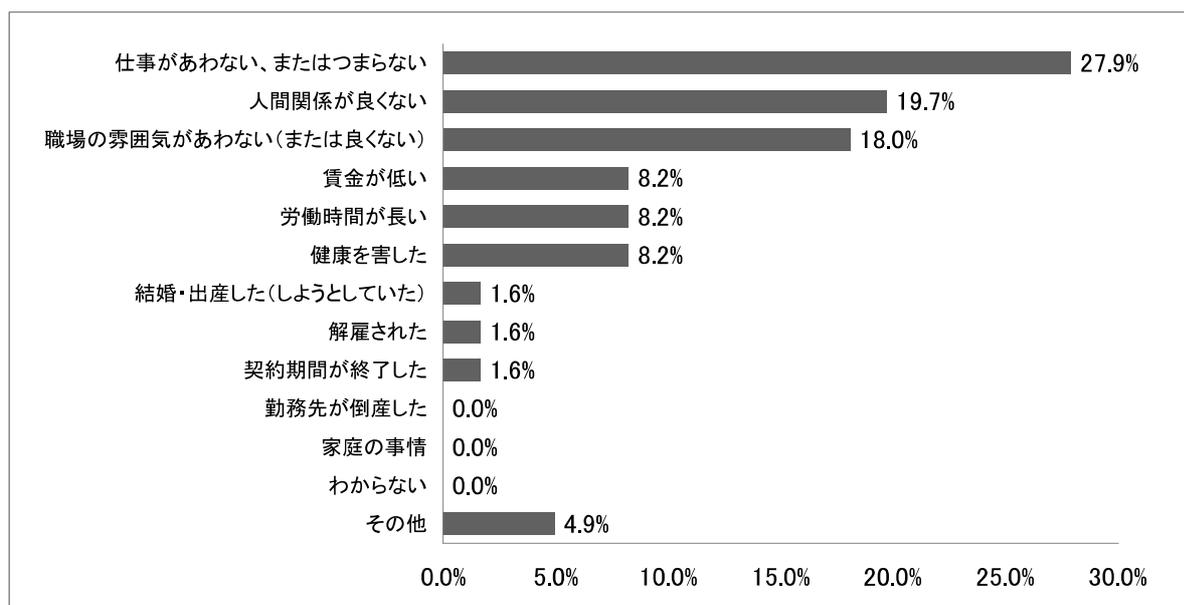
以上のような取組の推進、強化によって、本県の喫緊の課題である「高卒就職者早期離職」の防止を図るとともに、卒業後の未就職者の支援を行いたい。

7 アンケート集計結果(平成22年3月高等学校卒業就職者)

【1】最初に就職した勤め先の離職等について



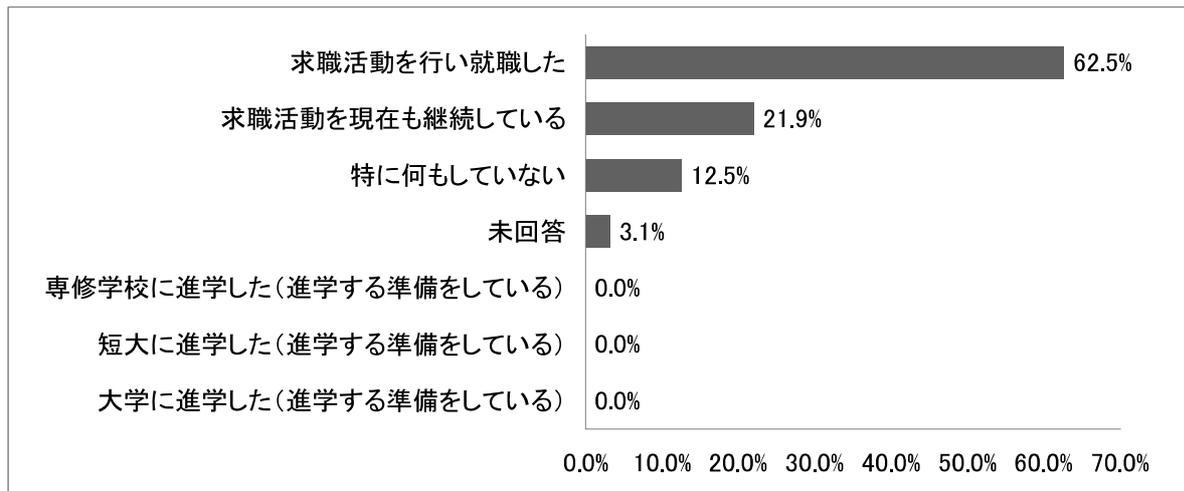
【2】離職した主な理由について(複数回答可)



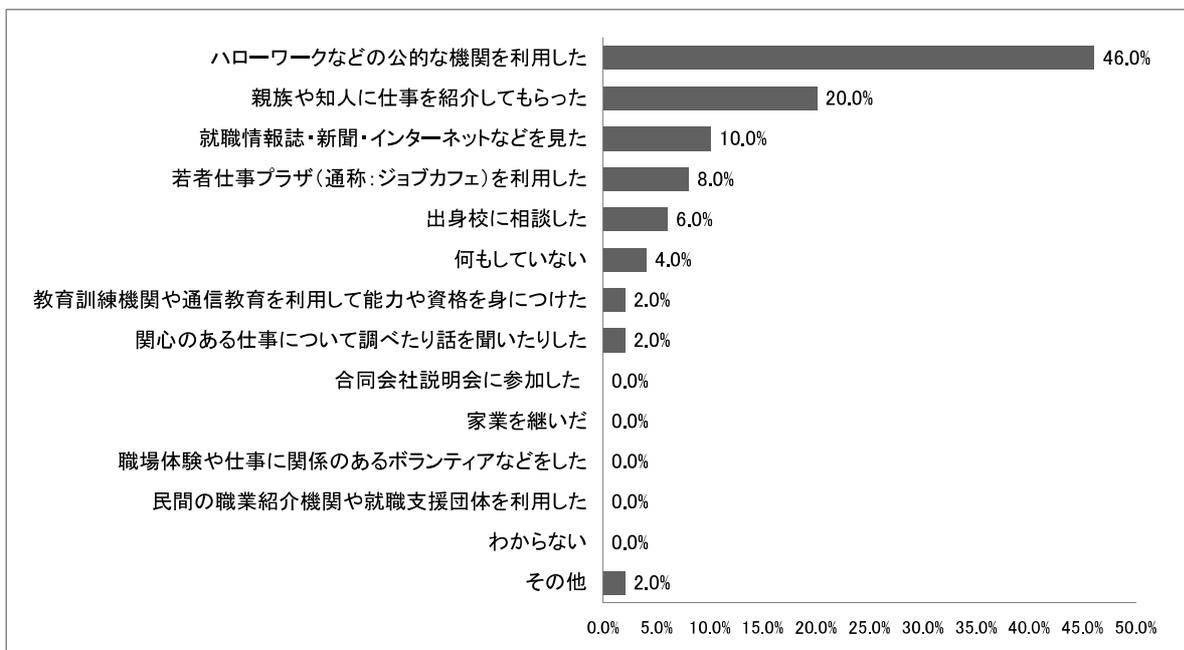
◆その他の記述

- ホームシック
- 進学したいと思った。

【3】離職後の活動について



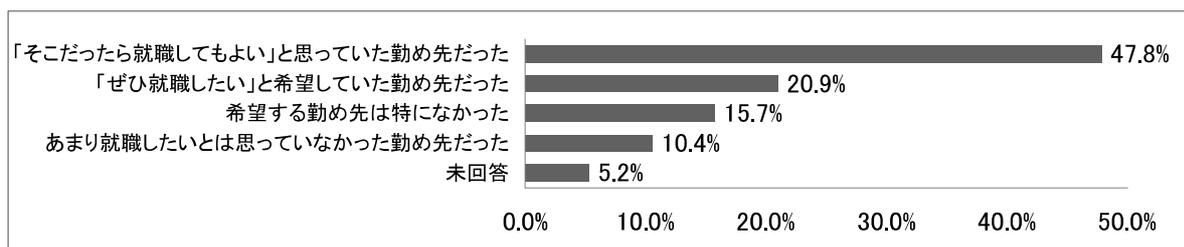
【4】離職後の主な求職活動等について(複数回答可)



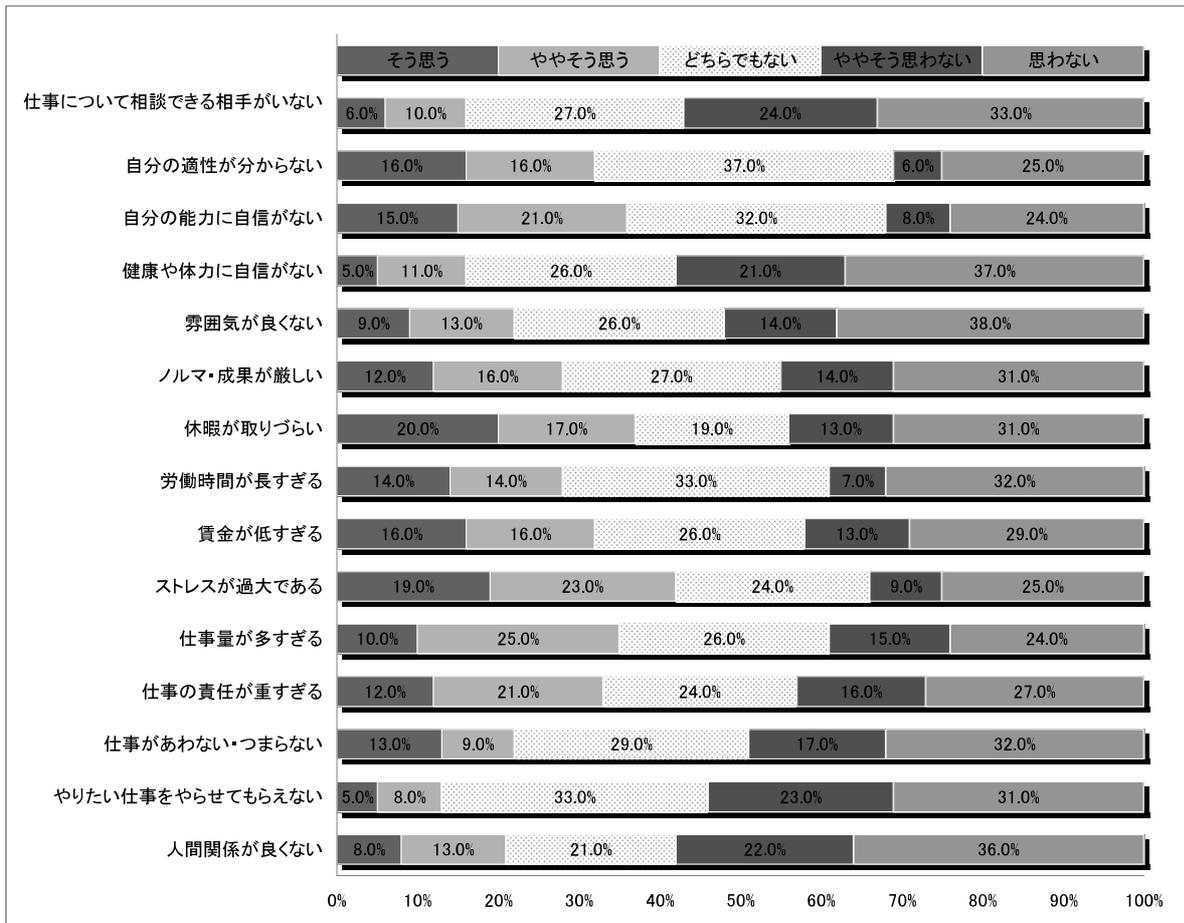
◆その他の記述

○ アルバイトをしている。

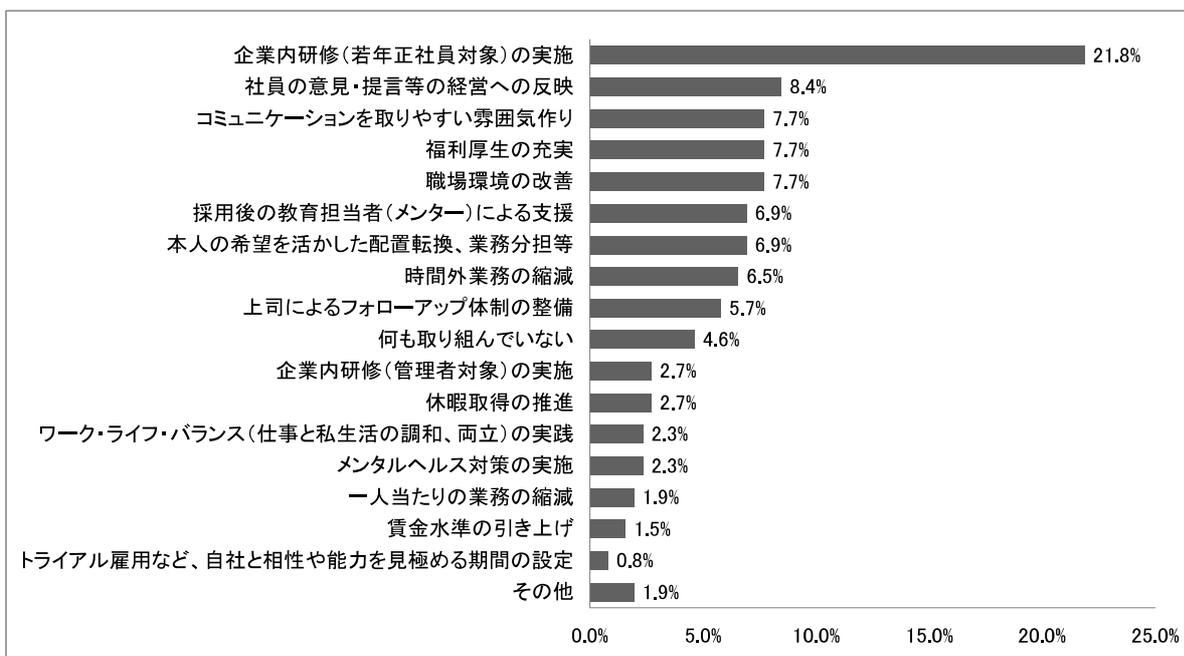
【5】最初に就職した勤め先を選んだ時の気持ちについて



【6】最初に就職した勤め先の仕事・職場について



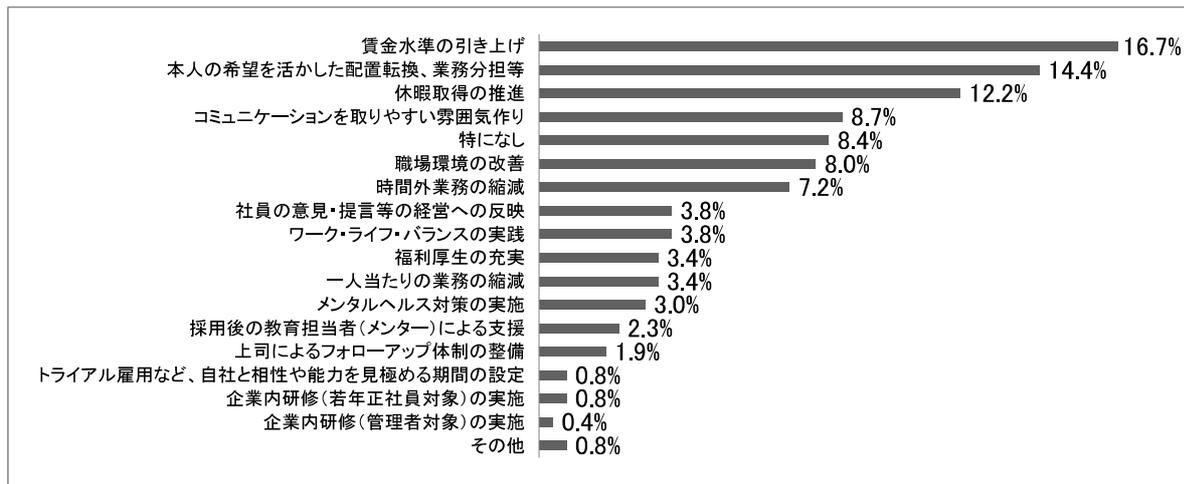
【7】最初に就職した勤め先が取り組んでいた(いる)ことについて (3つ以内)



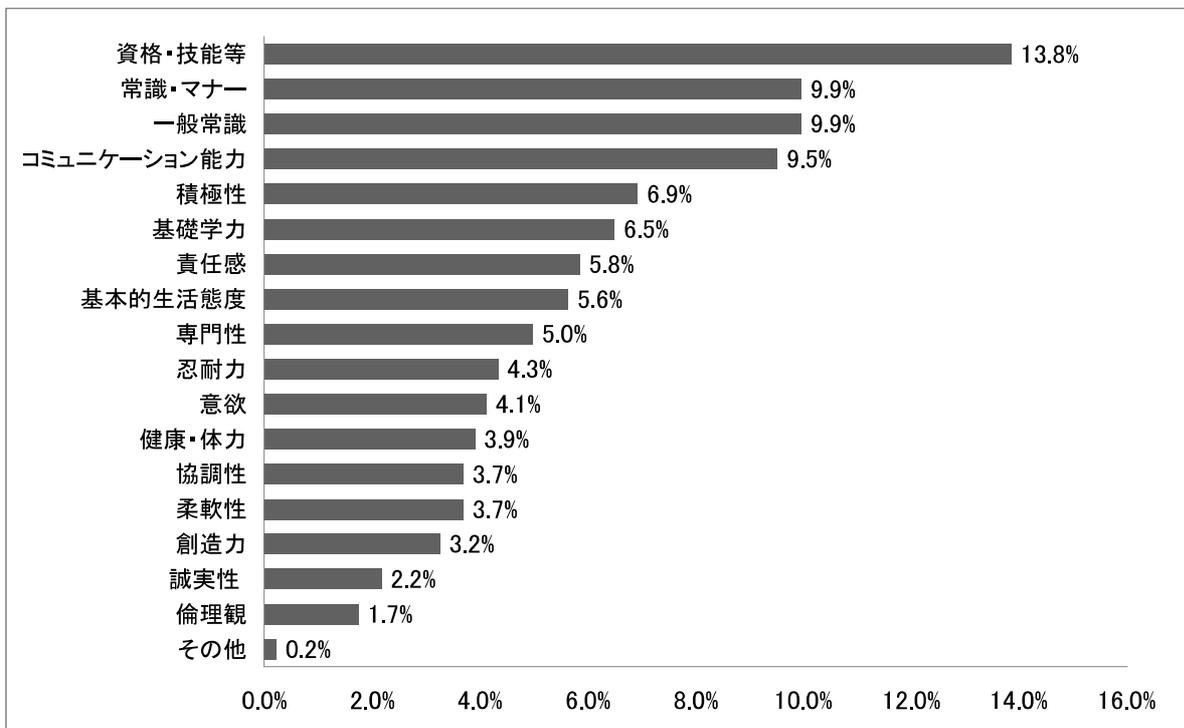
◆その他の記述

- 寮の設備、老朽化を改善
- 若い世代におしつけるようなことをしない。

【8】働き続けるために勤め先に望む取組について(3つ以内)



【9】高校生の時にもっと身につけておけばよかったと思うことについて(複数回答可)



【10】働いてみて、役に立った高校での学習内容について(自由記述)

◆常識・マナー

- 敬語を学ぶ事が出来た総合実践
- 「総合実践」という教科で教わった領収書の書き方、おじぎの使い分けなどの基本的なマナーが役に立ったと思う。その授業で使った教科書は今でもとても役に立っている。
- 常識・マナーなどを学んでいたのが役に立ちました。

◆資格

- 資格取得の取組
- 秘書検定の学習
- 資格を多く取れた事

◆専門教科

- 専門的な事をいかす仕事だったので勉強したことが生かされた。
- 調理実習
- 情報(コンピュータ)の基礎
- 電卓計算、ワード、エクセル、パソコン関係、総合実践
- パソコンでのワードやエクセルなどの情報処理
- 工業高校での専門学科
- 実習での水質検査の授業
- 自動車の専門的知識
- 電気の基礎
- 溶接
- 簿記
- 基礎化学

◆部活動

- 高校でのクラブ活動を頑張って続けたことが、今になってすごくよかったと思います。体力面はもちろんですが、仲間とのコミュニケーション作り、忍耐力や責任感等はクラブ活動と仕事は通じることが多くあるからです。
- 部活動でマナーや挨拶などをしていたのでとても役に立ちました。
- 部活動で、忍耐力と健康・体力を身につけた。
- 部活動で身に付けた忍耐力、コミュニケーション能力

◆体力

- 体育(体力)
- 農業で体力はついた。

◆国語

- 国語(漢字)
- 漢字

◆環境活動

- 環境改善活動

◆就職支援

- 実際に働いている方のお話を聞いたり、体験できたりしたのがよかった。

◆その他

- 友達がたくさんいたのでコミュニケーション能力には困らなかった。
- 責められても落ち込まず、何が良くなかったのかその改善策等を考える。
- 寮生活
- 採用試験において勉強したこと全般、役に立ちました。

【11】高校生の時に、もっとこんなことを学んでおけばよかったと思う内容について（自由記述）

◆常識・マナー、一般常識

- 電話対応・接遇などマナーを学んでおけばよかった。
- 常識・マナーなど社会に必要なものをしっかり学んでおけば良かった。
- 社会人としての礼儀、マナーを学んでおけばよかった。
- 敬語の使い方を学んでおけばよかった。
- 社会に出たときのマナー、電話対応(事務系の人は絶対)、お客様に対して、上司の人に対しての敬語の使い方
- 「仕事」と「学校」の違いがよくわからなかった。どう違うのか、「仕事」というものはどういうものなのかなど
- 常識・マナーとか一般常識など役に立つもの
- 一般常識(漢字や計算も)

◆資格、技能等

- 専門技術を学んでおけば良かった。
- 専門的な資格の取得
- もっとためになるような資格を取っておけばよかったなと思います。
- 資格をとる時間は十分あったのにとらなかったのも、もっとたくさん資格をとるべきだった。
- 資格を取っていたがもっと積極的に取ればよかった。
- 努力して取れる資格は少しでも多くとっておけばよかった。
- 高校での専門知識は基礎中の基礎だが、それをしっかり勉強すべきだった。

◆コミュニケーション能力

- 自分の考えを相手に上手に伝える。
- 人間性
- 上司とのコミュニケーション能力
- 誰とでも意見交換ができるコミュニケーション能力

◆基礎学力

- 基礎学力
- 英語
- 漢字
- 簿記

◆体力

- 体力をつけるべきだった。
- 体力錬成のやり方

◆会社について

- 仕事・会社など
- 今の会社の事

◆その他

- 感情の操作、協調性
- 生活に関すること(車のこと、お金の使い道、お金の使い方)
- 現状の社会情勢
- 優先順位のつけ方、自分の適性
- 高校3年生になった時点での自分が知っている職種があまりにも少なすぎる。高校を卒業して選択できる道が少なすぎると思う。
- 退職した後のことを何も知らなかった為、仕事を探せなかった。その為、退職後の行動について知っておきたかった。
- 社会人になってから気付くことが多すぎる。例えば、年金のことや税金のこと、学校では学科の授業だけなので社会の仕組みを学んでおけばよかった。
- 企業が求めている人材について
- 仕事でのトラブルを相談できる場所について
- 多くの人の話を聞きいろいろな知識をつける。
- 手話

【12】もっと高校に取り組んでもらいたいこと（自由記述）

◆常識・マナー

- 生徒指導の徹底
- 服装の指導—制服を見るだけで〇〇高校だとすぐ分かるので、きちんと着こなせばよいが、だらしない着こなしたと学校の品位が下がると思う。
- 社会に出た時の敬語などの一般常識
- 言葉遣い
- 礼儀とマナーを身につける教育
- 教師の教師以外の面もさらすことによって、一人の大人としての例を見せてほしい。結果、どうでもいいことかもしれないが、世の中、物事を知る、学ぶことができる。
- テストでいい点をとるよりも、社会の基本的なところをしっかりと身につけ、それを活かせるようになることが大切だと思います。

◆資格取得

- 資格を取得させたほうが良い。
- いろんな資格

◆コミュニケーション能力

- 社会に出てからの、コミュニケーションの取り方などに取り組む学習をしてもらいたいです。
- 人との話し方、自分を持つ大切さ
- 相手とのコミュニケーションのとり方（伝え方、聞き方）

◆学習、態度

- 話を聞くことよりも、実際に体験できるような学習を増やしたら良いと思います。
- もっと専門的なことを教えてほしい。
- 責任感、協調性

◆進路・就職関連

- 就職先の幅をもっと広げる。
- 体験学習をもっと増やしてもいいと思う。
- 面接の練習を増やす。慣れれば緊張しないから。
- 生徒のカウンセリング充実、できる限り企業へ求人を増やしてもらえよう相談して欲しい。
- 会社に就職した先輩方の話を聞いて、その会社の強み、良い所、悪い所など知りたい。もっと色々な科を増やして欲しい。
- 生徒のことを考えて、一人一人を見て就職先を薦めて欲しい。生徒と向き合える先生がいて欲しい。
- 生徒に対し自身の夢・目標を明確にさせ、さらに「こういった職業がある」ということもわからせてあげることが必要だと思う。
- 高校生ということもあり、なかなか働く機会の少ない人たちが、いきなり社会に出て働く状況です。でするのでバイトの規制が厳しすぎ、働くことができない。少しでも働く環境になれてから社会人としてやっていくほうが絶対によいはず！
- 今、出来ないと辞める人が多い。だから仕事をする意味、仕事の大切さをもっと教育すべきだと思う。
- もっと進路に関して積極的にフォローしてほしかった。ほうりなげるような感じだったので。

◆その他

- 県内すべての県立高校で朝読書に取り組んでもらいたい。社会人に必要な集中力・ポキャブラリーなどが身に付きそう。
- 適性や能力などを生徒に伝える・身につけさせる取組（抽象的ですが・・・）。
- 手話等障がい者の方に対する対応等
- 意見です！アンケートの結果を教えてください。

【13】参考データ

◆回答者の出身学科と離職者数

学科	回答者数	離職者数
農業	14	5
工業	43	4
商業	23	8
水産	4	3
家庭	3	
情報	3	
福祉		
総合	17	6
普通	24	6
その他	3	
合計	134	32

◆回答者の性別と離職者数

性別	回答者数	離職者数
男	81	14
女	53	18
合計	134	32

◆高等学校卒業直後、最初に就職した勤め先の所在地

県東部	48
県中部	23
県西部	38
その他	25
合計	134

◆最初に就職した勤め先の従業員数

	～ 9	11
10	～ 99	66
100	～ 299	22
300	～	33
不明		2
合計		134

◆最初に就職した勤め先の産業別区分

産業別区分	回答者数	離職者数
鉱業		
建設業	3	1
製造業	45	10
電気・ガス・熱供給・水道業	9	
情報・通信業	1	
運輸業	2	
卸売・小売業	16	2
飲食店・宿泊業	11	7
金融・保険業	3	1
不動産業		
医療・保健衛生・福祉	6	
教育・学習支援業		
その他サービス業(理美容、娯楽等)	15	8
公務	10	1
その他	13	2
合計	134	32

◆離職者数の多い産業別区分の出身学科別離職者数

産業別区分抜粋	農業	工業	商業	水産	総合	普通
製造業	3	1		2	1	3
飲食店・宿泊業			2	1	3	1
その他サービス業		2	2		2	2

◆最初に就職した勤め先の職種

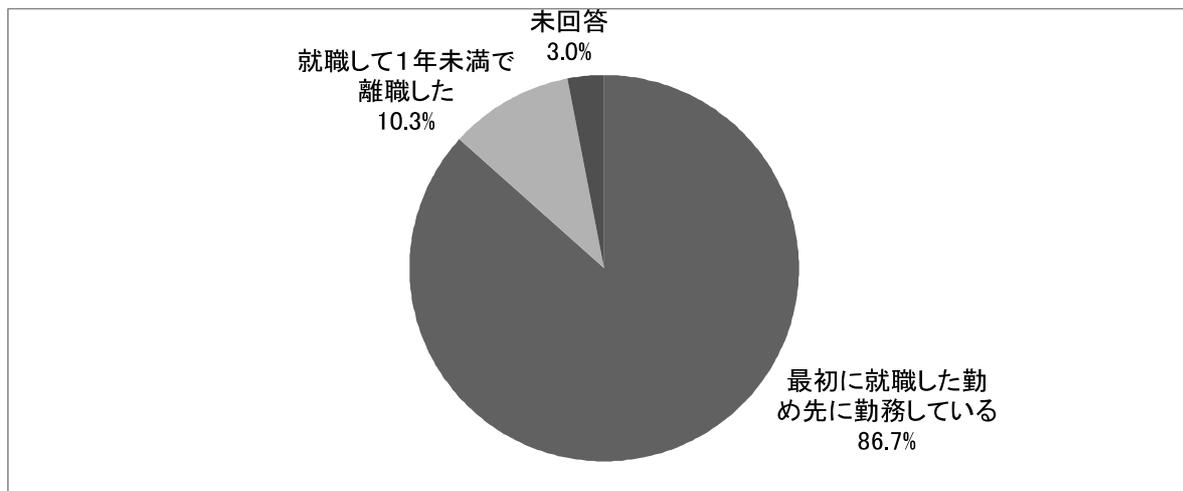
職種	回答者数	離職者数
専門・技術的な仕事	28	1
管理的な仕事	3	1
事務の仕事	13	4
販売の仕事	10	2
営業(外回り等)の仕事	2	1
保安の仕事	8	2
サービスの仕事	21	10
運輸・通信の仕事	1	
製造の技能工	34	7
その他	10	3
不明	4	1
合計	134	32

◆離職者数の多い職種の出身学科別離職者数

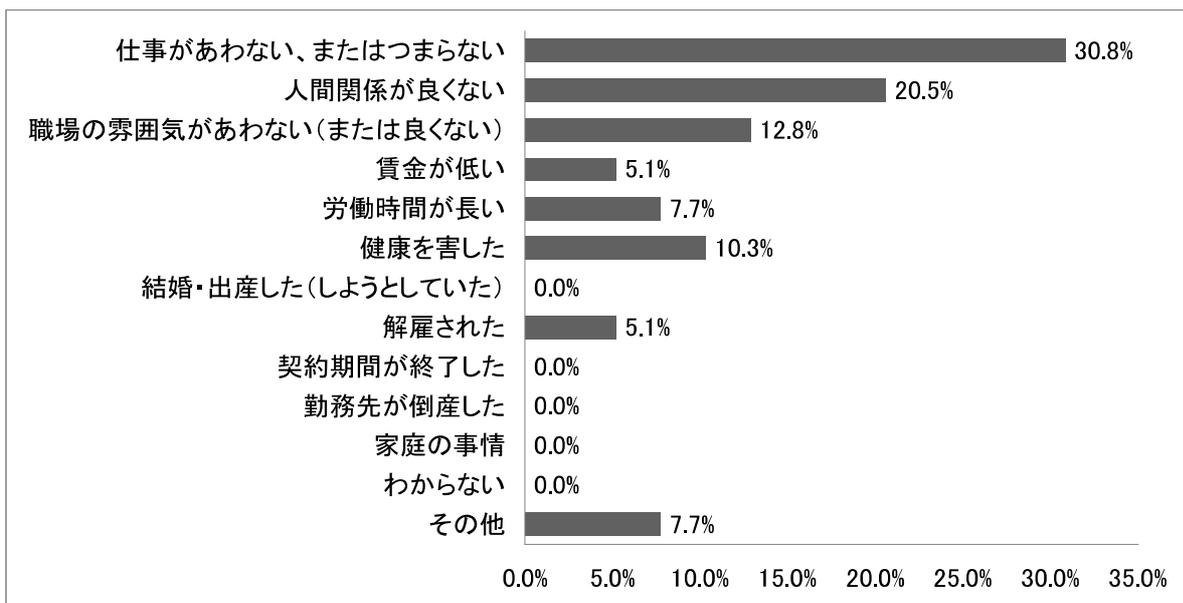
職種	農業	工業	商業	水産	総合	普通
サービスの仕事		1	3		4	2
製造の技能工	2	1		1		3

8 アンケート集計結果(平成23年3月高等学校卒業就職者)

【1】最初に就職した勤め先の離職等について

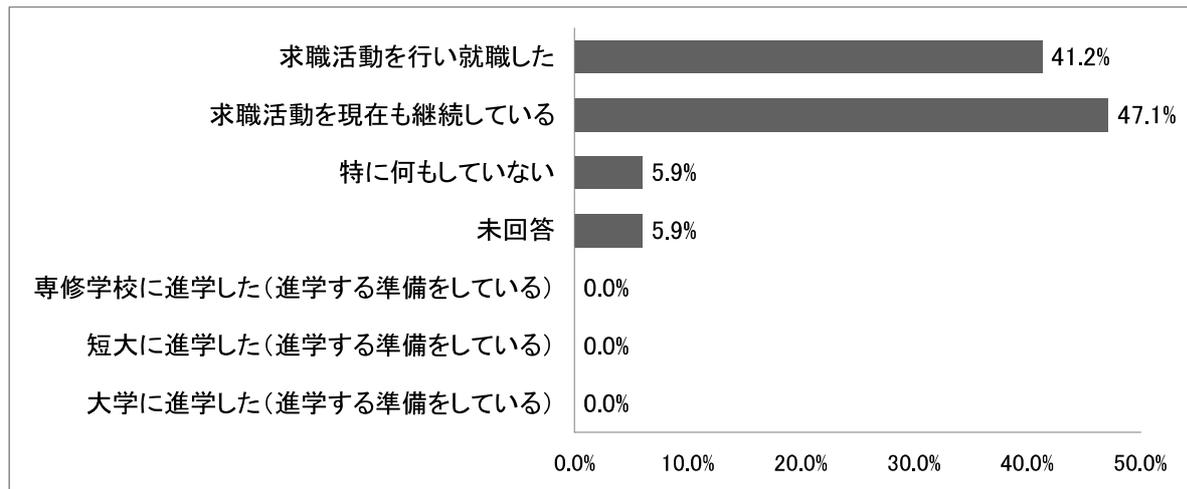


【2】離職した主な理由について(複数回答可)

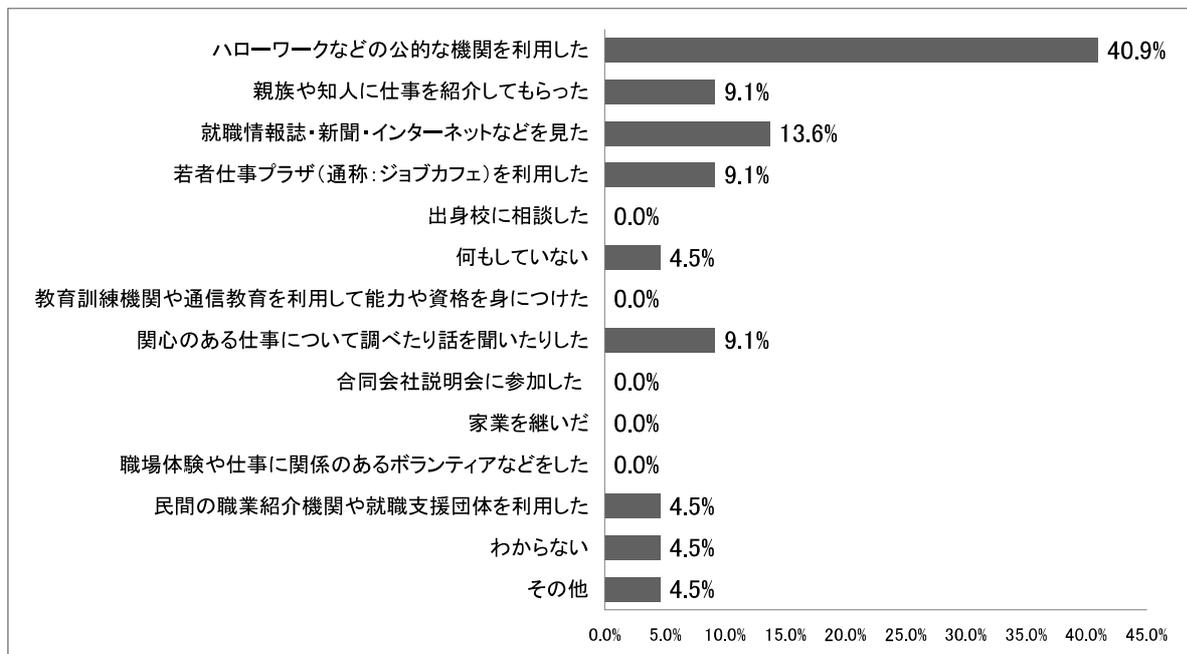


※ グラフの縦軸の項目順は、比較しやすくするために、平成22年3月高等学校卒業就職者のアンケート集計結果のグラフと同じにしてある(以下、同様)。

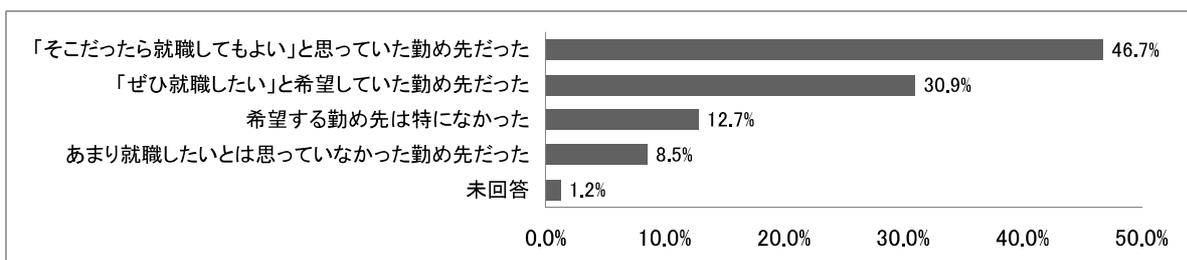
【3】離職後の活動について



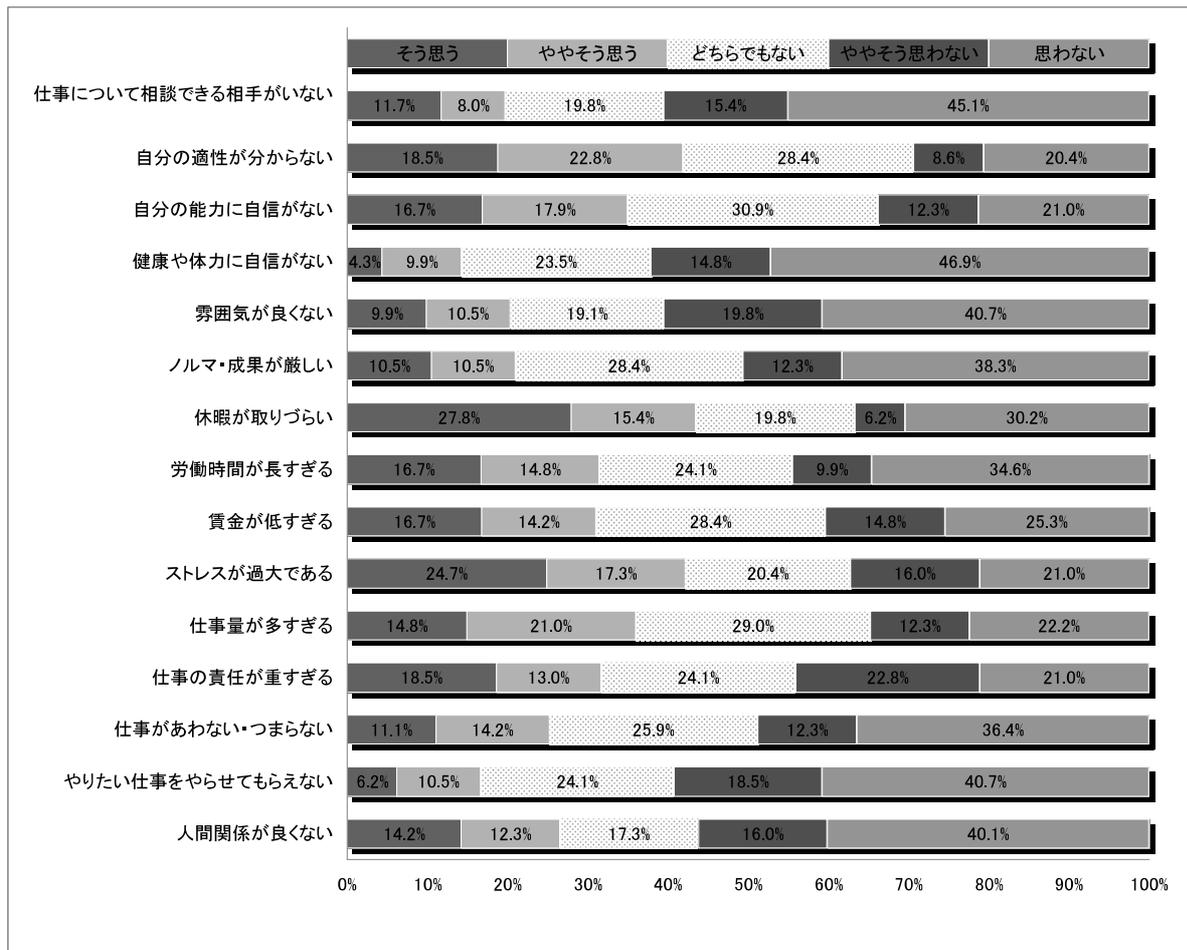
【4】離職後の主な求職活動等について(複数回答可)



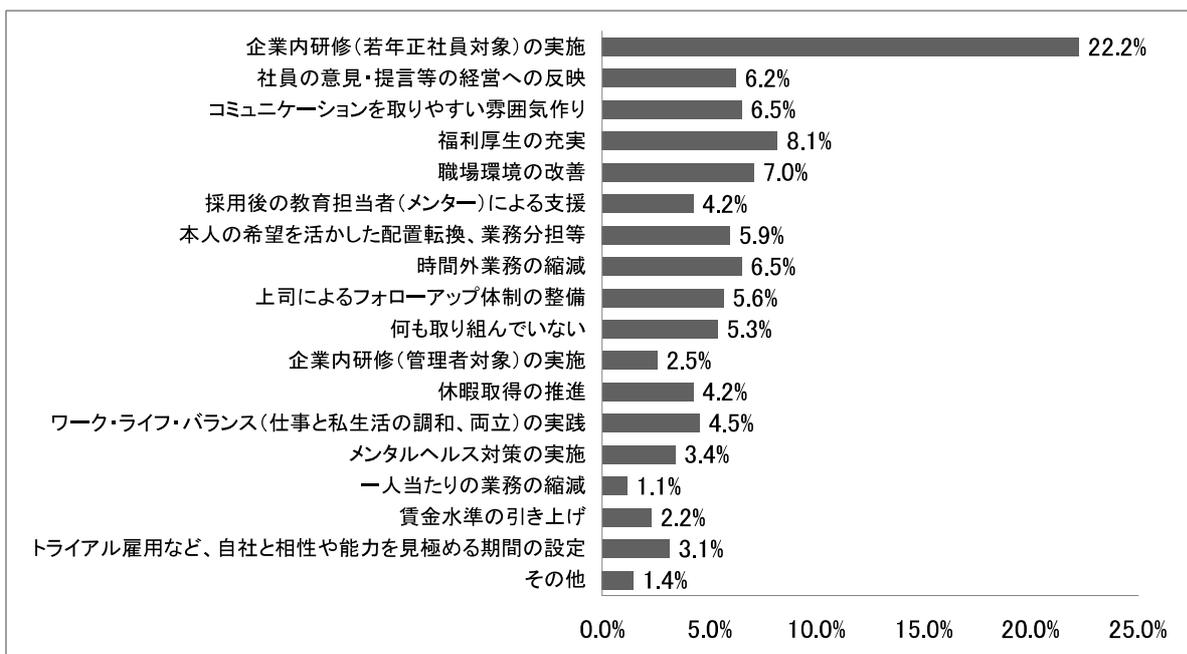
【5】最初に就職した勤め先を選んだ時の気持ちについて



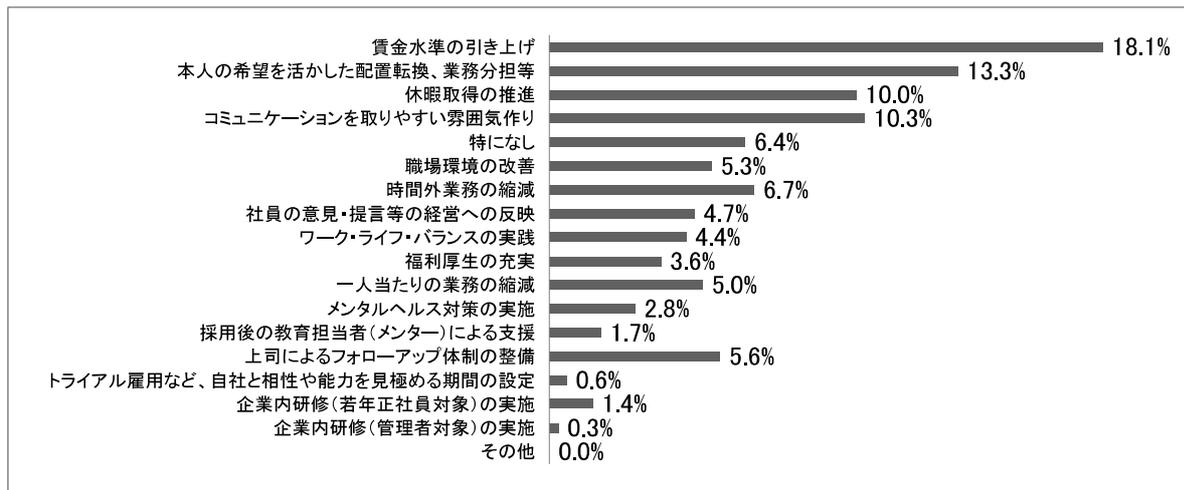
【6】最初に就職した勤め先の仕事・職場について



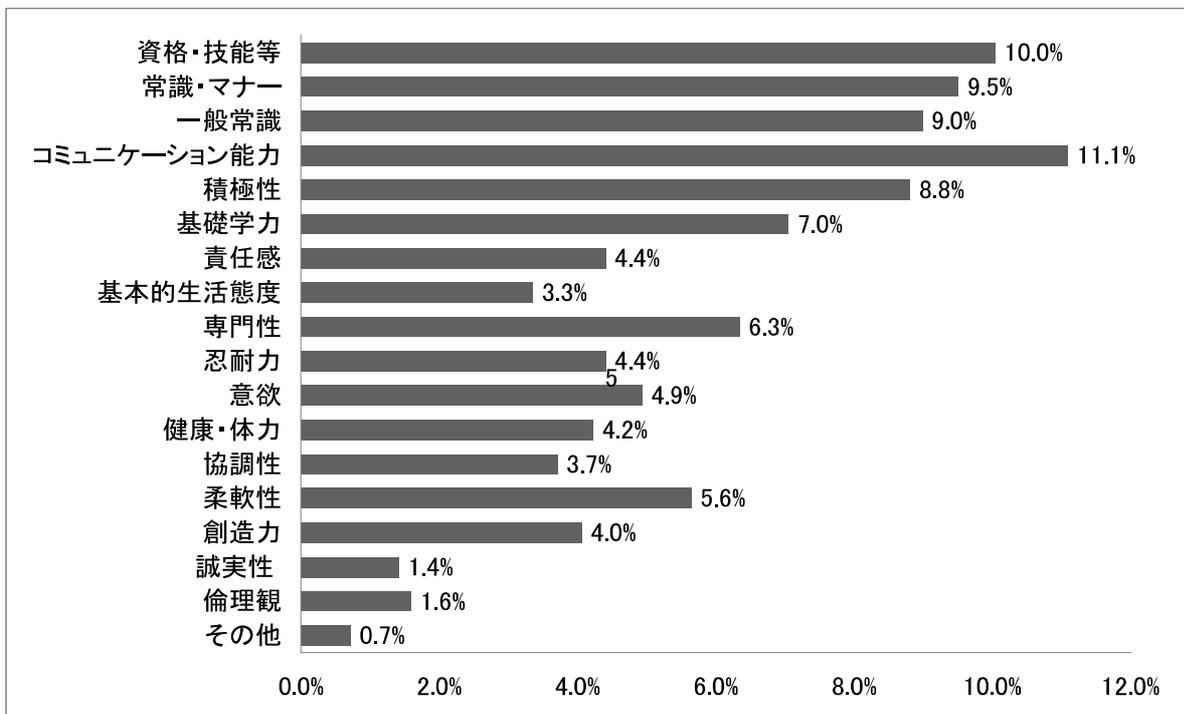
【7】最初に就職した勤め先が取り組んでいた(いる)ことについて (3つ以内)



【8】働き続けるために勤め先に望む取組について(3つ以内)



【9】高校生の時にもっと身につけておけばよかったと思うことについて(複数回答可)



【10】働いてみて、役に立った高校での学習内容について(自由記述)

◆常識・マナー

- 活動でつちかった礼儀・マナーは役に立つ。
- 身だしなみ・言葉遣い
- 敬語とマナー
- 電話対応
- 常識。成功しても失敗しても、周りに対する言葉や行動がないと、後々悪口やシコリになるので。

◆資格

- 簿記、パソコン、ガス溶接、電気工事、ヘルパー2級
- 電気工事に関する資格を取っていたことが役立った。
- パソコン関係の資格を取得していたので、職場でも楽に仕事をすることができた。
- 資格を取得して役に立っています。
- 専門学科なので国家資格を取得でき、給料も上がりました。本当に良かった。

◆専門教科

- パソコンを使った授業はほとんど役立った。
- 衛生管理、実習で習ったこと。
- ダムからの放流を計算するために、水理学が役に立ちました。
- 専門教科、調理実習、工業実習、農業実習、航海実習、製造実習、介護技術
- 食べ物についての知識
- 農業や家庭科で料理・お菓子を作れたこと。
- 実習をとおして、仕事に対する責任感が身についたこと。
- 現在はシステム関係を専門で扱うので、PCの基礎を学べた事はとても大きいと思います。
- 会計の授業内容が役に立った。
- レベル光波・CAD土木実数計算

◆部活動

- 部活動を3年間続け、人間的に成長することができたので、今の職場で様々な環境に対応することができているのだと思う。
- 部活動で培った忍耐力と協調性と責任感

◆体力

- 部活での体力

◆国語

- 漢字
- 文章を書く、要旨まとめ

◆数学、社会、外国語

- 数学的な思考(場合分けをしたり、消去法を用いて作業したりする)
- 現代社会、政治経済
- 英語

◆その他

- 人権学習
- 農作業・販売
- インターンシップ
- 聞いてすぐ理解する力
- 看護師から実体験を聞いたこと、職場での実習
- 全ての学習が役に立ってます。
- アルバイトをしていたことがプラスになった。
- 役に立ったというか社会人講和などで聞いた話は今になって納得することが多い。
- 任される仕事を責任持ってやっていた事が働いて役に立った。
- 働いてみて全てが直接役に立ったわけではないですが、先生方に教えていただいたことはとても役に立ったと思います。

【11】高校生の時に、もっとこんなことを学んでおけばよかったと思う内容について（自由記述）

◆常識・マナー、一般常識

- 常識、マナー、生活態度
- 電話対応、話術など
- 一般常識、社会の仕組み
- きれいな字を書く習慣
- 敬語、言葉遣い

◆資格、技能等

- 簿記、パソコン、調理、英会話、経済学、株・FX等
- 電気の知識、医療の知識、福祉の知識
- フライス盤実習
- 国家資格
- パソコンの使い方(Excel・Word)
- もっと資格を身に付けていたら良かったと思います。
- 漢字検定2級を取得しておけばよかった。
- 専門学科を一つだけでも得意にして強みになるよう学んでおけばよかった。
- 高1・2の時には就職先を決めておいてその職場に必要な資格取得。
- ガソリンスタンドに居るのですが、危険物取扱者の資格が必要で、その勉強をしていればよかった。
- 学校の授業だけでなく簿記や手話などの資格取得のための学習

◆コミュニケーション能力

- 人前で話をする経験をもっとしておけばよかった。
- もっと意見をはっきり言えるようにしておけばよかった。
- 協調性を養うことや積極性を養うこと。
- 目上の方に対する接し方、気配り・心配り

◆基礎学力

- 国語力、語学力
- 文章の適切な書き方構成を学んで身につけておけばよかった。
- 知識(一般常識・基礎学力)を多く持っていて間違いなし。
- 数学(文系や理系という分類以前に数学は強化すべき科目だと思う)
- 世界史(暗記力をつけるため)
- 英語に限らず外国語の一般的会話等

◆体力

- 部活をやっていてよかった。
- 体力作り

◆会社について

- 就職先の基本的な専門知識・専門用語
- 専門的な知識(その会社で必要と考えられるような)
- 工具の名前・使い方
- もっと早く今の職業に就くことを決め、専門的なことを学んでいればよかった。
- 自分にあつた仕事ややりたい事が分かっていなかった。もう少し真剣に取り組んでおけばよかった。

◆その他

- インターンシップ
- アルバイト
- 人権学習
- 日々の授業
- 学校での生活態度
- やっぱり勉強をもっとしっかりしておくべきだったと思う。
- 将来の方向を考えてもっと学力をつけておけばよかった。
- 専門的な事だけでなく、幅広く学んでおけばよかった。

【12】もっと高校に取り組んでもらいたいこと（自由記述）

◆常識・マナー

- 社会人としての基本的な常識マナー
- 年上の人への敬語での話し方・マナー
- 電話対応・一般常識・責任感が身につくような仕事を想定した授業
- 専門知識だけではなくて、一般知識も身につけさせて欲しい。
- 社会に出た時に必要な知識や常識を教えてもらいたい。

◆資格取得

- 資格を積極的に学習・取得出来たらよかった、時間が不足していた。
- 職場体験や実習などの経験ができる機会を増やしたほうがいいと思う。
- 実践に対応できるよう電気実習をもっと取り組んでもらいたい。
- 医療事務の資格が取れる(挑戦できる)ようにした方がいい。
- 介護技術をもっと細かく教えてもらいたい。
- 専門性知識を確実にする。専門性の高い授業をしてほしい。
- 介護技術をもっと細かく教えてもらいたい。
- 資格等の負担を生徒に対して減らす(母子家庭だったので、資格を取るためのお金を払うことが厳しかった)。
- 普通科高校は、特にもっと資格取得できるような環境が欲しい(大学進学コースを選択していたため)。
- 総合学科は少しわかりにくい学科だと思う。専門的に勉強していった方がいいと思う。

◆コミュニケーション能力

- 会話能力の向上(特に年上の人と話す時)、積極的・自発的な行動
- 発表の場を作る。
- コミュニケーション能力や挨拶を積極的に取り組んでほしい。
- コミュニケーションがとれないとやっていけないと思う。
- 話の内容に対しての一步踏み込んだ質問を考える頭
- 大きな声を出す、はっきり話す、基本的なこと、幼い時には当たり前に出ていた事が高校生は意外にできない。
- コミュニケーション能力の向上のために、社会とのふれあいや教師からの話しかけなどして慣れさせるように取り組む。

◆学習、態度

- 国語(漢字)の授業に力を入れた方がいいと思いました。
- 自主学習の徹底(会社に入ってからの方が一人で勉強する機会が増えるから)
- やりたい部活動を必ずやらせること。

◆進路・就職関連

- 個人の特性を見極め、その人に合った職業を紹介してほしい。
- どんな職種があるのかの説明(職業の中身も)
- 興味がある仕事の体験や見学をもっと沢山できるようにしてください。
- 本格的(詳しい)職場適性検査
- アルバイトはすすんでやらせるべきだと思う。
- 受ける前に見学するのがすごい大事!
- 社会人による体験談の講話
- 真剣に就職活動を考えてもらいたい。
- 社会勉強
- 就職に有利になるような学習をもうちょっと取り組んでほしい。
- 進路指導・職場訪問
- 就職先について調べさせたり下見をさせたりしておいたら、就職してから変にとまどわなくて済む。
- 今の仕事の労働時間が12~16時間だったので、1日の労働時間の事も詳しく調べて欲しかった。
- 卒業してもその後(就職状態)の話を聞いてもらいたい(職場の状態に?をもつことがあっても直接聞きづらいし言いづらいので)。

◆その他

- 自分と向き合う時間、余裕を作ること。
- 継続することの大切さを教えるべき。
- 先生と生徒がもっと近づけたらいいと思う。
- 人権学習の向上
- 忍耐力・協調性の育成
- 生徒に妥協しないでほしい。
- ゆとりの割にどこかつめこみ型のようなところがありました。
- 楽をしてお金を手にしない事、人を思いやる気持ち、命の重さ
- 先生方がもっと社会に出て学んだ方がいいと思います。教える側に常識がないと思いません。
- 社会人になると一人で責任を取る事になります。高校でメンタルトレーニングを行い責任感を学ぶと良いと思います。
- 学校推薦で、学力だけを見て就職順位を決めるのはしないでほしい。企業の求める人材は、生徒一人ひとりの人間性を見ているのが一番だと思います。

【13】参考データ

◆回答者の出身学科と離職者数

学科	回答者数	離職者数
農業	20	3
工業	50	
商業	22	3
水産	3	
家庭	4	
情報	4	2
福祉	5	
総合	29	3
普通	22	4
その他	6	2
合計	165	17

◆回答者の性別と離職者数

性別	回答者数	離職者数
男	91	9
女	72	7
不明	2	1
合計	165	17

◆高等学校卒業直後、最初に就職した勤め先の所在地

県東部	50
県中部	29
県西部	47
その他	39
合計	165

◆最初に就職した勤め先の従業員数

～	9	10
10	～ 99	67
100	～ 299	31
300	～	54
不明		3
合計		165

◆最初に就職した勤め先の産業別区分

産業別区分	回答者数	離職者数
鉱業	1	
建設業	8	1
製造業	60	3
電気・ガス・熱供給・水道業	13	
情報・通信業	1	
運輸業	10	1
卸売・小売業	12	1
飲食店・宿泊業	12	4
金融・保険業	1	
不動産業	0	
医療・保健衛生・福祉	15	1
教育・学習支援業	0	
その他サービス業(理美容、娯楽等)	15	4
公務	9	1
その他	8	1
合計	165	17

◆離職者数の多い産業別区分の出身学科別離職者数

産業別区分抜粋	農業	商業	情報	総合	普通	その他
製造業		1		1	1	
飲食店・宿泊業	1	1	1		1	
その他サービス業	1	1	1			1

◆最初に就職した勤め先の職種

職種	回答者数	離職者数
専門・技術的な仕事	43	6
管理的な仕事	3	
事務の仕事	10	1
販売の仕事	15	3
営業(外回り等)の仕事	2	
保安の仕事	2	
サービスの仕事	16	6
運輸・通信の仕事	8	
製造の技能工	47	
その他	18	1
不明	1	
合計	165	17

◆離職者数の多い職種の出身学科別離職者数

職種	農業	商業	情報	総合	普通	その他
専門・技術的な仕事				2	3	1
販売の仕事	1	1	1			
サービスの仕事	2	1	1		1	1